

topic
1

2016年度卒業論文・卒業制作発表審査会、卒業制作展、 修士論文・修士制作発表審査会が行なわれました

2017年、2月8日・2月9日に、2016年度卒業論文・卒業制作発表審査会が行なわれました。

大学で学んできたことの集大成として研究発表に臨む4年生は緊張した面持ちでしたが、発表が終わると晴れやかな表情になっていました。発表する姿からは、各々興味をもった対象について情熱をもって研究・制作してきたことが伝わってきました。



卒業制作展会場

3年後期から1年半、卒業論文・制作の指導をされてきた先生方も感慨深げでした。

また、同期間に卒業制作作品を展示した、卒業制作展も開催されました。来場者の方々は学生の作品ひとつひとつ、熱心にご覧になっていました。



卒業論文・卒業制作発表審査会の様子

2月13日には修士論文・修士制作発表審査会が行われました。

卒業論文で研究した内容をさらに深く掘り下げる学生、修士で新たな課題に取り組んだ学生など様々でしたが、学部生の時よりも専門的な研究や独創的な作品が発表され、大学院ならではのレベルの高いものでした。発表後の質疑応答では、先生からの鋭い指摘に、自らの見解や知見を緊張しながらも堂々と述べている姿が印象的でした。先生方も真剣に議論しつつも楽しそうで、温かい雰囲気にも包まれた活気ある議論の場に発展しました。二年間の修士での生活の充実ぶりを反映するかのようになり、非常に内容の濃い時間となりました。

大学院へ進学予定の学部生も先輩たちの発表に、熱心に耳を傾けていました。来年、再来年の発表審査会に期待がふくらみました。



修士論文・修士制作発表審査会の様子

住居学科の授業紹介 「建築と社会」

3年次 後期授業
科目担当：平田京子教授

グループ演習： エチオピア ラリベラでの女子就職支援施設的设计

エチオピアラリベラは世界遺産のキリスト教教会をもつ観光の町。ここではまだ定職に就くことはむずかしく、特に女性の収入獲得、職業訓練が課題。これらの解決のための施設計画にグループで挑みました。「NPO法人フー太郎の森基金」の元エチオピア事務所長・藤村健司氏との共同課題で、藤村さんからの現地に関するレクチャー後、さまざまなアイデアを盛り込んでの発表でした。

現地に行けない中、自分たちで課題解決するタイプの課題に四苦八苦しながらも、充実している様子でした。



2016.10/10・10/31
「NPO法人フー太郎の森基金」の元エチオピア事務所長・藤村健司氏との共同課題でエチオピアの女性教育施設を考えました。



グループ演習： (仮)神栖市防災アリーナの避難所運営計画

現在、設計が進んでいる茨城県神栖市防災アリーナ(PFI事業)は1万人程度を収容できる大きな避難所となります。この避難所運営計画をグループ課題で行い、施設設計者(清水建設、同技術研究所)の前で各グループのアイデアをプレゼンテーションしました。発想の転換、支援の必要な人々へのあたたかいまなざしなど、新鮮な提案が次々飛び出しました。



2016.11/28 清水建設設計部 牧住敏幸氏、清水建設技術研究所と共に(仮)神栖防災アリーナの避難所を計画しました。

木下壽子さんによる講義と学生へのメッセージ

この授業では、毎年卒業生をお呼びし、自らのキャリアデザインを考えます。そのゲストとして住宅遺産トラストやコミュニティー・ハウジング社の代表として活躍中の木下壽子さんをお招きしました。熱気のコもった授業後、さらに在学生の皆さんに次のようにメッセージを寄せてくださいました。

不動産に関する基礎知識の不足

社会に出て、住居、建築設計の仕事と社会がつながる上で、不動産の基本的な知識がないのは片手落ちであると感じました。いち住まい手としても、家を購入するとき、実家の空家問題など、不動産の知識は不可欠です。建築家としても住まい手としても、不動産の基本的な知識がないばかりに、損をしてしまうということは非常に多いです。

建築を経験してほしい

国内・海外を問わずですが、建築教育において、実際にいかに多くの優れた建築を見るか…ということは極めて重要だと思います。私の場合、幸運にも取材というお仕事と三宅研究室の調査を通して世界中の建築を見る機会を得ることができましたが、国内だけでも、十分見るべき建物はたくさんあると思います。

学生時代に、少なくとも京都と奈良をじっくり見て、日本建築についての基礎知識を卒業までに身につけておけばよかったと痛感しました。

語学について

これからは、どのような仕事をするにしろ、語学、特に英語は必須であろうと思います。住居学科の学生さんは、すでに英語力はかなり高いはずですが、あとは、学習法さえ間違えなければ、留学せずとも最低限の使える英語は身につくのではないかと思います。海外との交換授業を企画する、外国人講師が英語で授業を行う、留学生を積極的に招聘するなど、できることはいくつかあるのではないかと思います。



木下壽子さんプロフィール

1993年 日本女子大学 卒業
1995年 芝浦工業大学大学院 修了
1996年 ロンドン大学大学院 修了
2014年 一般社団法人住宅遺産トラスト 理事
2006年 有限会社コミュニティー・ハウジング 代表取締役